

シェアリング経済とリース

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人 資産運用業協会

<https://www.fromhc.com>

2026.4.21

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



概要

金融から非金融へ

既存の金融固有の付加価値創造能力を失い、根本的に解体され、脱金融の方向に向けて全く別の形に再編されることが想定される。非金融領域では、従来の運転資金は高度な決済テクノロジーによって代替され、設備投資はリースなどを通じたシェアリングに代替されることが考えられる。

オペレーティングリース

オペレーティングリースとは、リース会社が物件を所有し、その物件を貸す仕組みである。ファイナンスリースとの決定的な違いは、モノの所有権、すなわち、危険負担の所在の違いである。借りる側は、モノに関する危険を負担しなくてよいことになり、そこに借りる側の利益がある。また、資産と負債の両方が消えて、負債の削減による財務体質の強化と経営効率の改善にも繋がる。一方、貸す側は、モノに関する危険を負担しているため、その危険に見合う収益の増加を要求できる。

リスクシェアリング

リスクシェアリングとは、金融と実業との間で、事業のリスクを負担する割合を調整すること。たとえば、銀行が企業に融資する場合と出資する場合とでは、リスク負担の割合、即ちリスクシェアリングの構造が異なる。リース契約の場合も、ファイナンスリースからオペレーティングリースへ、そしてレンタルへと変換していくと、それに応じて、事業リスクは、リース資産を利用している顧客企業からリース会社に順次移行する。

リスクシェアリングの高度化

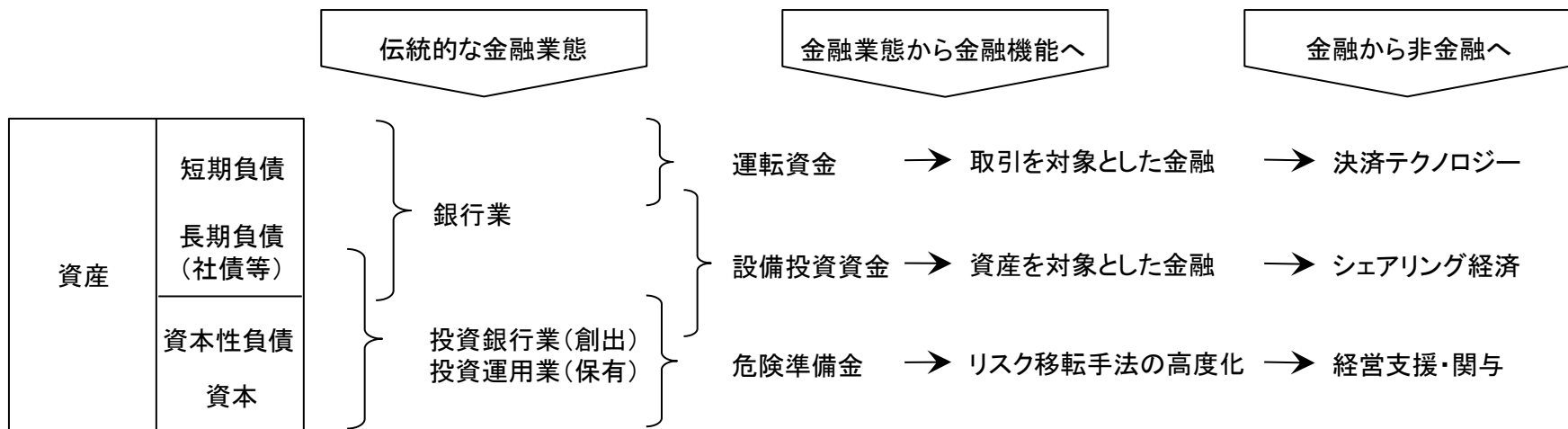
伝統的なリスクシェアリングでは、一方に、金融側のリスクを最小化する融資や社債等の負債取引があり、他方に、金融側のリスクを最大化する株式という資本取引があるが、現在では、金融の高度化により、その中間に様々な濃淡でリスクシェアリングを設計する方法、即ちメザニンや劣後構造の設計がなされている。しかし、メザニン等は一つの企業と金融との間のリスクシェアリングの技法にすぎない。産業全体において各企業のリスクをシェアリングして、産業全体のリスクに転換し、その産業のリスクと金融との間でリスクシェアリングを図るのが、リースや不動産等の実物資産を使う取引である。

シェアリング経済

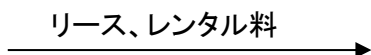
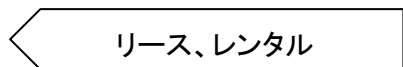
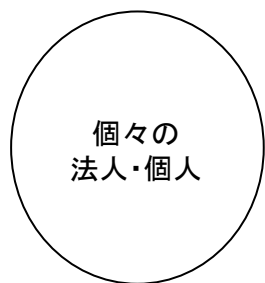
シェアリング経済とは、金融・実業・消費者の間でモノに関わるリスクを移転し、モノの所有・貸出を効率的かつ個々の利益に合うことを可能にする経済サイクルのこと。シェアリング経済の発展により、銀行は伝統的なコーポレートローンから、より希少性のあるモノ、ヒトの貸出へ移行し、更に資産の外部流動化が進むことで上場投資信託化等の投資対象拡大につながり、間接金融から直接金融へと金融構造改革が図られる。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

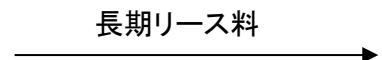
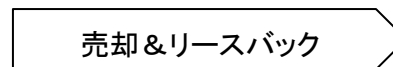
脱金融とシェアリング経済



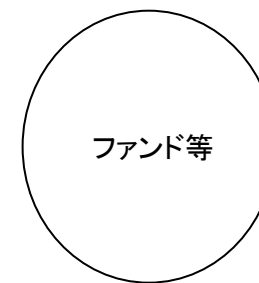
資金そのものより、モノ・サービス
への需要増



リース会社は
BS肥大を抑制するために資産売却

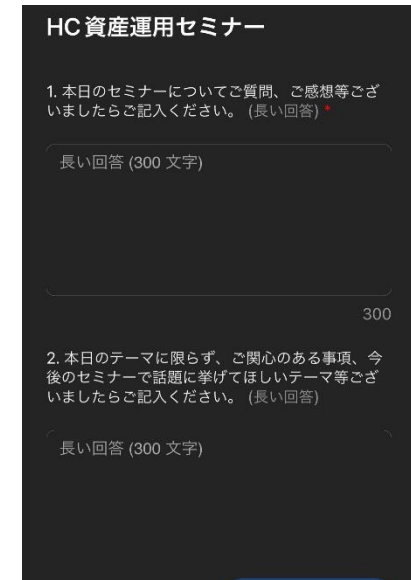
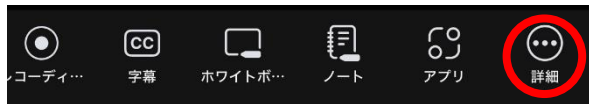


上場投資信託化で個人投資家も
投資可能



講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法:各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。